2018年 ９月試験
ファイナンシャル・プランニング技能検定

３級 実技試験

資産設計提案業務

実施日① ◆	年	月	日
実施日② ◆	年	月	日
実施日③ ◆	年	月	日
試験時間 ◆ 60分			

★ 注 意 事 項 ★

① 問題用紙は試験監督者の指示があるまで開けないでください。
② 試験問題は、試験用紙と解答用紙からなっています。解答はすべて解答用紙に記入してください。
③ 解答用紙にはあらかじめ受検番号、カナ氏名が印字されていますので、ご自身のものかを確認してから漢字氏名を記入してください。
④ 問題数は20問、解答はすべて三答択一式です。
⑤ 試験問題については、特に指示のない限り、法令基準日（１月・５月試験は前年10月1日、９月試験はその年の４月１日）現在において施行の法令等に基づいて解答してください。なお、東日本大震災の被災者等に対する各種特例等については考慮しないものとします。
⑥ 試験問題の内容に関する質問には一切お答えできません。
⑦ 問題用紙・解答用紙に印刷不明瞭や乱丁・落丁があった場合は、お申し出ください。
⑧ 解答用紙は試験終了後、回収しますので持ち帰らないでください。問題用紙はお持ち帰りください。
⑨ 計算機（電卓）は演算機能のみを有するものだけ使用できます。関数機能やプログラムの入力可能なものは使用できません。
⑩ 携帯電話やスマートフォンなどの通信機能を有する機器は電源を切ってカバン等へしまってください（マナーモードも不可）。
⑪ 机の上には受検票、本人確認書類、筆記用具（HBの鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）、計算機（電卓）以外のものは置かないでください。
⑫ 不正行為防止のため、試験監督者が持ち物の提示を求める場合があります。
⑬ 試験問題の音読は慎んでください。
⑭ 試験開始後、途中退室は一切できません。

FP3級ドットコム

【第１問】 下記の（問１）～（問２）について解答しなさい。

問１

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「ＦＰ」という）の行為に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 社会保険労務士資格を有していないＦＰが、顧客からの質問に応じて、日本の公的年金制度の仕組みと特徴について説明をした。
2. 投資助言・代理業の登録をしていないＦＰが、顧客と投資顧問契約を締結し、当該契約に基づいて特定の上場会社の業績予想や投資判断について助言をした。
3. 税理士資格を有していないＦＰが、顧客から個別・具体的な税額計算を依頼されたため、業務提携している税理士を紹介し、一般的な税法の解説を行った。

問２

下記は、伊丹家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の（ア）～（ウ）に入る数値とその求め方として、最も不適切なものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用し、計算結果は万円未満を四捨五入すること。

＜伊丹家のキャッシュフロー表＞　（単位：万円）

経過年数			基準年	１年	２年	３年	４年
西暦（年）			２０２３	２０２４	２０２５	２０２６	２０２７
家族・年齢	伊丹　直樹	本人	４２歳	４３歳	４４歳	４５歳	４６歳
	愛実	妻	４１歳	４２歳	４３歳	４４歳	４５歳
	航	長男	１７歳	１８歳	１９歳	２０歳	２１歳
	彩香	長女	１５歳	１６歳	１７歳	１８歳	１９歳
ライフイベント		変動率	住宅のリフォーム	彩香高校入学	航大学入学		彩香大学入学
収入	給与収入（夫）	１％	４１６			（　ア　）	
	給与収入（妻）	１％				２６０	２６２
	収入合計	－		６７５	６８１		
支出	基本生活費	２％	２７６	２８２	２８７	２９３	２９９
	住宅関連費	－	１５３	１５３	１５３	１５３	１５３
	教育費	－	１４０	１８０			３２０
	保険料	－	４７	４７	４７	４７	４７
	一時的支出	－	１５０				
	その他支出	－	３０			３０	３０
	支出合計	－	７９６		７７７		８４９
年間収支			▲１２８	▲１８	（　イ　）	１５	▲１５４
金融資産残高		１％	１，３７０	（　ウ　）	１，２８４		

※年齢および金融資産残高は各年１２月３１日現在のものとし、２０２３年を基準年とする。

※給与収入は可処分所得で記載している。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部空欄にしてある。

1．空欄（ア）：「４１６×（１＋０．０１×３）≒<u>４２８</u>」

2．空欄（イ）：「６８１－７７７＝<u>▲９６</u>」

3．空欄（ウ）：「１，３７０×（１＋０．０１）－１８≒<u>１，３６６</u>」

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第２問】 下記の（問３）～（問５）について解答しなさい。

問３

下記は、経済用語についてまとめた表である。下表の経済用語に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

経済用語	主な内容
（　ア　）	日本銀行が景気の現状や先行きの見通しについて企業に直接行うアンケート調査で、全国企業短期経済観測調査の略称であり、年４回、調査・公表される。
（　イ　）	消費者が購入するモノやサービスなどの物価の動きを把握するための統計指標で、総務省から毎月発表されている。
（　ウ　）	生産、雇用などの経済活動状況を表すさまざまな指標の動きを統合して、景気の現状把握や将来の動向を予測するために内閣府が発表している指標である。

1．空欄（ア）に入る用語は、「日銀短観」である。
2．空欄（イ）に入る用語は、「消費者物価指数」である。
3．空欄（ウ）に入る用語は、「企業物価指数」である。

問４

下記は、ＮＩＳＡの成長投資枠の概要についてまとめた表である。下表に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。なお、本問においては、ＮＩＳＡ口座（特定非課税累積投資契約に係る非課税口座）のうち、特定非課税管理勘定を「成長投資枠」という。

対象となる金融商品	上場株式、株式投資信託、Ｊ－ＲＥＩＴ（上場不動産投資信託）等
口座開設	原則１人１口座
金融機関の変更	（　ア　）
非課税投資枠	新規投資額で年間（　イ　）まで
非課税枠の未使用分	翌年以降に（　ウ　）

1．空欄（ア）に入る語句は、「１年単位で可能」である。
2．空欄（イ）に入る語句は、「２００万円」である。
3．空欄（ウ）に入る語句は、「繰り越すことができない」である。

問５

下記＜資料＞に基づくＳＸ株式会社の投資指標に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、購入時の手数料および税金は考慮しないこととする。

＜資料＞

［株式市場に関するデータ］

株式市場の投資指標

（ＰＥＲと配当利回りの太字は予想、カッコ内は前期基準、ＰＢＲは四半期末基準、連結ベース。算出不能は―）

	ＰＥＲ（倍）	ＰＢＲ（倍）	配当利回り（％）単純平均	配当利回り（％）加重平均
日経平均採用銘柄	**13.81**（16.03）	**1.24**	**1.74**（1.56）	
ＪＰＸ日経400採用銘柄	**15.06**（16.08）	**1.45**	**1.55**（1.43）	
東証１部全銘柄	**15.66**（17.71）	**1.34**	**1.59**（1.49）	**1.93**（1.77）
東証２部全銘柄	**28.14**（　―）	**1.57**	**1.52**（1.50）	**1.05**（1.01）
ジャスダック全銘柄	**20.49**（25.22）	**1.63**	**1.38**（1.36）	

株式益回り（東証１部全銘柄）　予想　6.38％　前期基準　5.64％

（出所：日本経済新聞　２０１８年２月７日朝刊　１８面）

［ＳＸ株式会社に関するデータ］

株価	８１０円
１株当たり純利益（今期予想）	６２円
１株当たり純資産	５８０円
１株当たり年間配当金（今期予想）	１６円

1. 株価収益率（ＰＥＲ）で比較した場合、ＳＸ株式会社の株価は日経平均採用銘柄の平均（予想ベース）より割安である。
2. 株価純資産倍率（ＰＢＲ）で比較した場合、ＳＸ株式会社の株価は東京証券取引所市場第１部（東証１部）全銘柄の平均より割安である。
3. 配当利回り（単純平均）で比較した場合、ＳＸ株式会社の配当利回りはジャスダック全銘柄の平均（予想ベース）より高い。

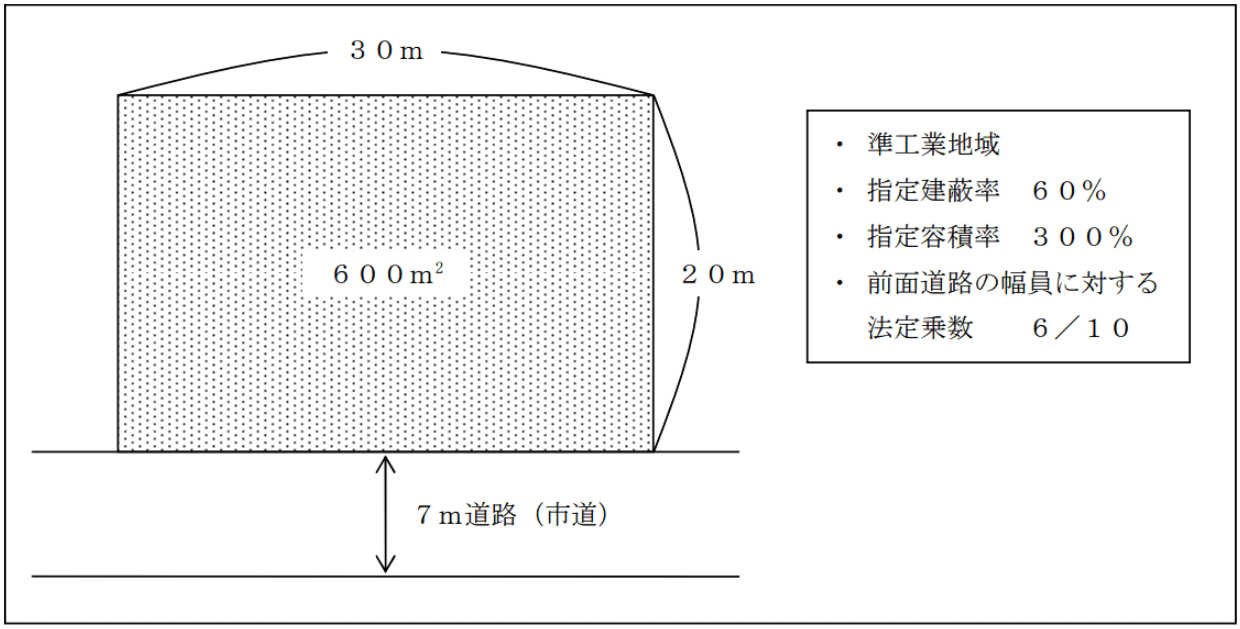
〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第３問】 下記の（問６）～（問７）について解答しなさい。

問６

建築基準法に従い、下記＜資料＞の土地に建築物を建築する場合の延べ面積（床面積の合計）の最高限度として、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

＜資料＞



1. ６００×０．６＝３６０（㎡）
2. ６００×３．０＝１，８００（㎡）
3. ６００×７．０×６／１０＝２，５２０（㎡）

問７

土地の登記記録において、下表の甲区（ア）、乙区（イ）に記録される事項の組み合わせとして、誤っているものはどれか。なお、問題作成の都合上、表の一部を空欄（＊＊＊）としている。

＜土地登記記録の構成＞

土地登記記録	表題部	＊＊＊	
	権利部	甲区	（　ア　）
		乙区	（　イ　）

1. （ア）抵当権設定登記　（イ）所有権保存登記
2. （ア）所有権移転登記　（イ）抵当権設定登記
3. （ア）所有権移転登記　（イ）地上権設定登記

【第４問】 下記の（問８）～（問１０）について解答しなさい。

問８

大下実さんが加入しているガン保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、実さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険種類　ガン保険（無配当）　　保険証券記号番号　△△△－××××

保険契約者	大下　実　様	ご印鑑 ㊞
被保険者	大下　実　様 契約年齢　５２歳　男性	
受取人	〔給付金受取人〕被保険者　様 〔指定代理請求人〕大下　あずさ　様 ＊被保険者との続柄：妻	

◆契約日
２００９年１２月１日
◆主契約の保険期間
終身
◆主契約の保険料払込期間
終身

■ご契約内容

給付金・保険金の内容	給付金額・保険金額	保険期間
入院給付金	１日目から　日額５，０００円	終身
通院給付金	日額５，０００円	
診断給付金	初めてガンと診断されたとき　１００万円	

■保険料の内容

払込保険料合計	×，×××円／月
払込方法（回数）：年１２回 払込期月　：毎月	

■その他付加されている特約・特則等

保険料口座振替特約
＊以下余白

大下実さんが、２０２３年中に初めてガン（肺ガン・悪性新生物）と診断され、５０日間入院した場合、支払われる給付金は、合計（　ア　）である。

1. ２５万円
2. １００万円
3. １２５万円

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

問９

池谷史郎さんが２０２３年中に支払った生命保険の保険料が下記＜資料＞のとおりである場合、史郎さんの２０２３年分の所得税における生命保険料控除の金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の保険について、これまでに契約内容の変更は行われていないものとする。

＜資料＞

［終身保険（無配当）］
保険契約者：池谷史郎
被保険者：池谷史郎
死亡保険金受取人：池谷綾子（妻）
契約日：２０２３年８月１日
２０２３年の年間支払保険料：７５，０００円

＜所得税の生命保険料控除額の速算表＞

［２０１１年１２月３１日以前に締結した保険契約（旧契約）等に係る控除額］

年間の支払保険料の合計		控除額
	２５，０００円 以下	支払金額
２５，０００円 超	５０，０００円 以下	支払金額×１／２＋１２，５００円
５０，０００円 超	１００，０００円 以下	支払金額×１／４＋２５，０００円
１００，０００円 超		５０，０００円

［２０１２年１月１日以降に締結した保険契約（新契約）等に係る控除額］

年間の支払保険料の合計		控除額
	２０，０００円 以下	支払金額
２０，０００円 超	４０，０００円 以下	支払金額×１／２＋１０，０００円
４０，０００円 超	８０，０００円 以下	支払金額×１／４＋２０，０００円
８０，０００円 超		４０，０００円

（注）支払保険料とは、その年に支払った金額から、その年に受けた剰余金や割戻金を差し引いた残りの金額をいう。

1．３８，７５０円
2．４０，０００円
3．４３，７５０円

問１０

長谷川隆一さんが契約している自動車保険の主な内容は、下記＜資料＞のとおりである。次の記述のうち、＜資料＞の保険の補償の対象となるものはどれか。なお、いずれも保険期間中に損害が発生したものであり、運転者は隆一さんである。また、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料＞

保険種類	自動車保険
保険期間	１年
保険契約者	長谷川　隆一
記名被保険者	長谷川　隆一
対人賠償	無制限
対物賠償	無制限（免責金額なし）
人身傷害	１名につき５，０００万円
搭乗者傷害	５日未満入通院保険金　　２万円 ５日以上入通院保険金　２０万円

1. 自動車を駐車場に駐車する際に、誘導中の母親に誤って車が接触し、ケガをさせた。
2. 自動車を自宅車庫に入れる際に、誤って車庫の壁に衝突し、壁を損壊した。
3. 自動車を運転中に、交差点で他の自動車と衝突し、隆一さんが重傷を負った。

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第５問】 下記の（問１１）～（問１３）について解答しなさい。

問１１

会社員の福岡忠雄さんが２０２３年中に支払った医療費等が下記＜資料＞のとおりである場合、福岡さんの２０２３年分の所得税の確定申告における医療費控除の金額として、正しいものはどれか。なお、福岡さんの所得は給与所得７００万円のみであり、妻は福岡さんと生計を一にしている。また、医療費控除の金額が最も大きくなるよう計算すること。

＜資料＞

支払月	医療等を受けた人	内容	支払金額
１月	本人	人間ドック代（※１）	８０，０００円
２月	本人	入院費用（※２）	２４０，０００円
８月	妻	健康増進のためのビタミン剤の購入代	３０，０００円

（※１）人間ドックの結果、重大な疾病が発見され引き続き治療のため入院した。
（※２）保険金等により補てんされた金額はないものとする。

1. ２５０，０００円
2. ２２０，０００円
3. １４０，０００円

問１２

給与所得者である杉田さんは、２０２３年中にマンションを購入し、直ちに居住を開始した。杉田さんは、住宅借入金等特別控除（以下「住宅ローン控除」という）の適用を受けたいと考えており、ＦＰで税理士でもある村瀬さんに相談をした。村瀬さんの住宅ローン控除に関する次の説明のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 「住宅ローン控除の適用対象となる住宅の床面積は、４５㎡以上とされています。」
2. 「住宅ローン控除の控除額は、『住宅借入金等の年末残高等×０．７％』で計算されます。」
3. 「住宅ローン控除は、その年分の合計所得金額が２，０００万円以下でなければ適用を受けることができません。」

問１３

桑原さんは、個人で飲食店を経営している青色申告者である。桑原さんの２０２３年分の所得および所得控除が下記＜資料＞のとおりである場合、桑原さんの２０２３年分の所得税額として、正しいものはどれか。なお、桑原さんに＜資料＞以外の所得はなく、復興特別所得税や税額控除、源泉徴収税額や予定納税等については一切考慮しないこととする。

＜資料＞

［２０２３年分の所得］
事業所得の金額　１，２００万円
※必要経費や青色申告特別控除額を控除した後の金額である。
［２０２３年分の所得控除］
所得控除の合計額　２５０万円

＜課税総所得金額に対する所得税の計算方法＞

課税総所得金額×所得税率－控除額

＜所得税の速算表＞

＜所得税の速算表＞

課税される所得金額	税率	控除額
１，０００円 から　１，９４９，０００円 まで	５％	０円
１，９５０，０００円 から　３，２９９，０００円 まで	１０％	９７，５００円
３，３００，０００円 から　６，９４９，０００円 まで	２０％	４２７，５００円
６，９５０，０００円 から　８，９９９，０００円 まで	２３％	６３６，０００円
９，０００，０００円 から　１７，９９９，０００円 まで	３３％	１，５３６，０００円
１８，０００，０００円 から　３９，９９９，０００円 まで	４０％	２，７９６，０００円
４０，０００，０００円 以上	４５％	４，７９６，０００円

（注）課税される所得金額の１，０００円未満の端数は切捨て

1. ３，１３５，０００円
2. ２，４２４，０００円
3. １，５９９，０００円

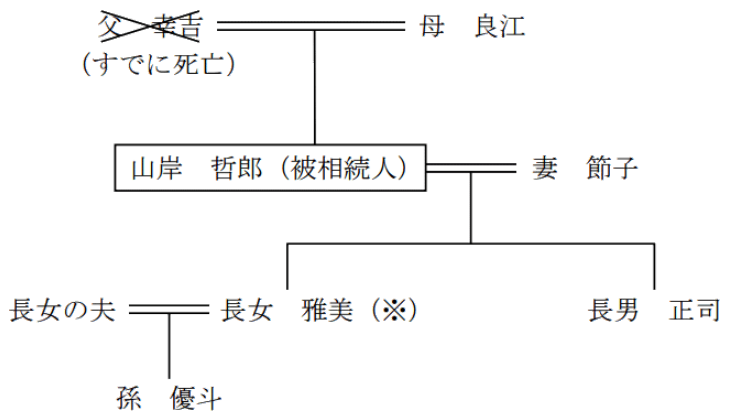
〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第６問】 下記の（問１４）～（問１６）について解答しなさい。

問１４

２０２３年９月２日に相続が開始された山岸哲郎さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

＜親族関係図＞



※ 雅美さんは期限内に所定の手続きを行い、相続を放棄した。

1. 節子 1／2　正司 1／2
2. 節子 1／2　正司 1／4　優斗 1／4
3. 節子 1／2　良江 1／6　正司 1／6　優斗 1／6

問１５

中井さんは、ＦＰの浅田さんに公正証書遺言について質問をした。この質問に対する浅田さんの回答の空欄（ア）、（イ）にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

＜浅田さんの回答＞
「公正証書遺言は、遺言者が遺言内容を口授し、公証人が筆記したうえで、遺言者・証人に読み聞かせ、または閲覧させて作成する遺言書です。公正証書遺言の作成に当たっては、（　ア　）以上の証人の立会いが必要となります。また、相続開始後における家庭裁判所の検認が（　イ　）です。」

1. （ア）１人　（イ）必要
2. （ア）２人　（イ）必要
3. （ア）２人　（イ）不要

問１６

野村由美子さん（６０歳）は、夫から居住用不動産の贈与を受けるに当たっての贈与税の取扱いについて、ＦＰで税理士でもある横川さんに相談をした。この相談に対する横川さんの回答の空欄（ア）、（イ）にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

＜横川さんの回答＞
「贈与税の配偶者控除は、婚姻期間が（　ア　）以上の配偶者から、国内の居住用不動産または居住用不動産を取得するための金銭の贈与を受け、所定の要件を満たす場合に、基礎控除とは別に、最大（　イ　）の控除を受けることができる制度です。」

1. （ア）１０年　（イ）１，０００万円
2. （ア）２０年　（イ）２，０００万円
3. （ア）２０年　（イ）２，５００万円

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第７問】 下記の（問１７）～（問２０）について解答しなさい。

《設　例》

佐野勇也さんは株式会社ＭＫに勤める会社員である。勇也さんは４０歳を過ぎたこともあり、今後の生活設計について、ＦＰで税理士でもある鶴見さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも２０２３年９月１日現在のものである。

［家族構成（同居家族）］

氏名	続柄	生年月日	年齢	職業
佐野　勇也	本人	１９７７年８月１０日	４６歳	会社員
弥生	妻	１９８１年６月１６日	４２歳	専業主婦
真理恵	長女	２００６年５月　５日	１７歳	高校生

［保有財産（時価）］

（単位：万円）

金融資産	
普通預金	４５０
定期預金	５００
財形年金貯蓄	２２０
個人向け国債	５０
上場株式	１４０
生命保険（解約返戻金相当額）	７０
不動産（自宅マンション）	２，６００

［負債残高］

住宅ローン（自宅マンション）：１，９００万円（債務者は勇也さん、団体信用生命保険付き）

［その他］

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないこととする。

問１７

ＦＰの鶴見さんは、佐野家のバランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に記載のあるデータに基づいて解答することとする。

＜佐野家のバランスシート＞　（単位：万円）

［資産］		［負債］	
金融資産			
普通預金	×××	住宅ローン	×××
定期預金	×××		
財形年金貯蓄	×××	負債合計	×××
個人向け国債	×××		
上場株式	×××		
生命保険（解約返戻金相当額）	×××	［純資産］	（　ア　）
不動産（自宅用マンション）	×××		
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1．２，１３０（万円）
2．２，０６０（万円）
3．１，９９０（万円）

問１８

勇也さんは、今後１５年間で毎年２４万円ずつ積立貯蓄をして、老後の生活資金を準備したいと考えている。積立期間中に年利２．０％で複利運用できるものとした場合、１５年後の合計金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の３つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、解答に当たっては、千円未満を四捨五入すること。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料：係数早見表（年利２．０％）＞

	終価係数	年金終価係数	年金現価係数
１５年	１．３４６	１７．２９３	１２．８４９

※記載されている数値は正しいものとする。

1．４，８４６，０００円
2．４，１５０，０００円
3．３，０８４，０００円

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

問１９

勇也さんは、通常６５歳から支給される老齢基礎年金を繰り下げて受給できることを知り、ＦＰの鶴見さんに質問をした。老齢基礎年金の繰下げ受給に関する次の（ア）～（ウ）の記述について、正しいものを○、誤っているものを×とした組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、老齢基礎年金の受給要件は満たしているものとする。

（ア）老齢基礎年金を繰下げ受給した場合の年金額の増額は、一生涯続く。

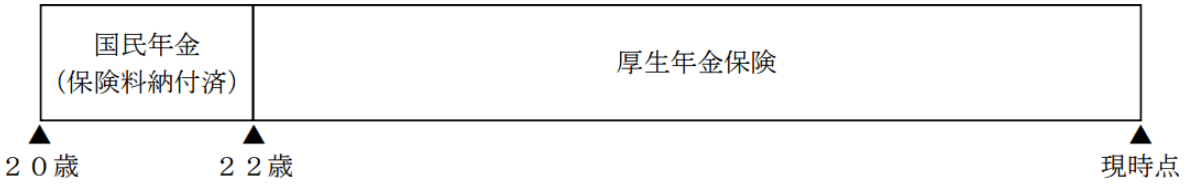
（イ）老齢基礎年金を繰下げ受給した場合の年金額は、繰下げ月数１月当たり０．７％の割合で増額される。

（ウ）老齢基礎年金を繰下げ受給する場合、老齢厚生年金を６５歳から受給することはできない。

1. （ア）× （イ）○ （ウ）○
2. （ア）× （イ）× （ウ）○
3. （ア）○ （イ）○ （ウ）×

問２０

勇也さんの公的年金加入歴は下記のとおりである。仮に、勇也さんが現時点（４６歳）で死亡した場合、勇也さんの死亡時点において妻の弥生さんに支給される公的年金の遺族給付に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、勇也さんは、入社時（２２歳）から死亡時まで厚生年金保険に加入しているものとし、遺族給付における生計維持要件は満たされているものとする。



1. 遺族厚生年金のみが支給される。
2. 遺族基礎年金および遺族厚生年金が支給される。
3. 死亡一時金および遺族厚生年金が支給される。

《模範解答》

問番号	解答
問1	2
問2	1
問3	3
問4	2
問5	2
問6	2
問7	1
問8	3
問9	1
問10	3
問11	2
問12	1
問13	3
問14	1
問15	3
問16	2
問17	1
問18	2
問19	3
問20	2